

読者ひろば

ハンセン病の
啓発に向けて

高谷和生⁵⁹

IIボランティアガイド

(玉名市)

合志市の国立ハンセン病療養所・菊池恵楓園の園内を、高齢化した入所者の代わりに案内するボランティアガイドの養成講座があった。今回、新たに22人が認定を受けた。開催は7回目で、今回認定でガイド登録は226人になった。新たな仲間との活動に期待感

で胸が膨らむ。

昨年5月、第9回ハン

セン病市民学会が熊本市

(歴史資料館)の展示が、ガイドの思いとずれていたりする。

ながであった。全国の活動事例と対比すると、多くの課題が浮き彫りとなつた。見学希望は平日に集中する。ところが、ガイドの中には土日しか活動できない人もおり、思いが活動実績に結びつかない場合がある。また、入所者との交流を期待している人も多いが、ガイド活動が忙しいため進んでいない。さらには啓発の柱である社会交流会館

菊池恵楓園と入所者自治会は恵楓園を人権教育の拠点として、ハンセン病問題を学ぶカリキュラム策定を合志市に要望したという。ますます、ボランティアガイドの活動の重要性が高まつてゐる。今後は活動基本となるガイドラインの作成や見学、交流、調査、支援などそれぞれの分野に合わせての組織化を図る必要があるのではないかと想ふ。

か。
入所者の平均年齢は82歳となつた。次のステップに進む努力を自らにも課していきたい。

「読者ひろば」への一般投稿、若者コ一
ナーハーは450字程度、主張提言は600
字程度。△欄外に郵便番号、住所(アパ
ト・マンション名も)、氏名、年齢、職業(無
職の方は元職でも可)、電話番号を明記す
る△趣旨を変えず文章を直すこともあり
ます△原稿は返却しません。二重投稿採
用

投稿される方へ

否の理由等の問い合わせはお断りしま
す。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送
ります。あて先は①郵送〒860-815
06、熊本中央区世安町172、熊口
06(3)126683②メール
hiroba@kumanichi.co.jp